

3年B組 外国語科 単元設計・学習指導案

指導者 向井 俊博

1 日時（場所） 1月28日（木） 10:50～11:40（3年B組教室）

2 単元設計（単元名：Reading 2 Fly Away Home）

(1) 本単元で育成したい自立と共生の力

- よりよい社会や自分の姿を思い描く力
- 問題の解決に向け、自ら考え、見通しを持って行動する力
- 自分の気持ちや考えを表現し、伝える力

(2) 単元目標

- 物語を読み、登場人物の行動や心情の変化、あらすじを理解したり、今後の展開を予想したりすることができる。 「知識及び技能」
- 物語を読み、内容について分かりやすい英語で表現し、考えたことや感じたことなどをグループで質問し合ったり応答し合ったりすることができる。 「思考力、判断力、表現力等」
- 級友の発表を聞いて、コメントを述べたり質疑応答をしたり、分からない語句があったとしても粘り強く英語を用いてやり取りをしようとする。 「学びに向かう力、人間性等」

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第3学年 学年末）				
話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	聞くこと	読むこと
身近な話題について、基本的な表現を用いてやりとりができる。また、与えられたテーマについて基本的な表現を用いてディベートができる。	写真や図などを用いながら、身近な話題について、構成を考えてまとまりのあるスピーチや説明ができる。また、自分の気持ちや意見を付け加えることができる。	身近な話題について、全体の構成や文と文とのつながりを意識して、15文程度のまとまりのある英文を書くことができる。また、自分の意見やその理由なども書くことができる。	身近な話題や興味・関心のある話題に関するまとまりのある話や対話を聞いて、概要や情報の関連性を理解することができる。また、話し手の意図や意見などを理解することができる。	読み取りの観点が与えられれば、500～600語程度の社会的な話題に関する文章を読み、概要や要点、書き手や登場人物の気持ちを理解することができる。また、自分の意見を持つことができる。

(3) 重点目標

<本質的な問い>

物語を読み、その内容について、積極的に英語でやり取りを行うにはどうすればよいか。

<永続的な理解>

次の三つの視点が必要である。一つ目は、物語の全体の内容を理解することである。個々の単語や文の解釈に追われるだけでなく、物語全体の構造（起承転結）をつかみ、次の展開を想像しながら楽しく読むことが大切である。二つ目は、相手に伝えるために6W1Hを意識したり、コミュニケーションの型を活用したりして、自分の理解した内容を相手がイメージしやすいように伝えることである。三つ目は、積極的にやり取りを行うために、相手の発表内容に興味を持ち、アイコンタクト、うなずき、ジェスチャー、イントネーションなどのコミュニケーションスキルを活用してやり取りすることである。

(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①今までに学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。 ②実際のコミュニケーションにおいて、物語を読んだ感想や感じたことについて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	①物語を読んでの他者の考えを知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要や要点を捉えている。 ②物語を読んでは、その内容や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合っている。	①物語を読んでの他者の考えを知り、自分の意見や考えを伝えるために、英文の概要や要点を捉えようとしている。 ②外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。

(5) 評価の方法

パフォーマンス課題	その他の評価方法
あなたは海外に留学中、英語で物語を読む授業を受けており、リテラチャー・サークルを行っています。今回の題材は“Fly Away Home”です。四人がそれぞれの役割を行った後、あるメンバーが“The geese arrived in time. I was surprised! Amy and her father did a great work!”と言いました。その続きを英語で話して、テーマが「挑戦」となるように、Amyたちのエピソードに触れながら、自分の考えを英語で伝え、会話を2分間継続させましょう。	○リテラチャー・サークルの各役割のワークシート ○ループリック評価表 ○360度カメラで記録されている動画 ○自分の挑戦に関する考えを書いたワークシート

＜パフォーマンス課題の予備的ループリック＞

条件1：物語中の英文や相手が話した内容を引用するなどしている。
条件2：自分の考えたことや感じたことなどを理由とともに述べている。
条件3：相手に考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	誤りのない正しい英文で話すことができる。	自分の考えを詳しく述べたり、効果的に引用したりしながら、三つの条件を満たしてやり取りしている。	自分の考えを詳しく述べたり、効果的に引用したりしながら、三つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
B	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	三つの条件を満たしてやり取りしている。	三つの条件を満たしてやり取りしようとしている。
C	誤りがあり、話したり聞いたりすることが難しい。	三つの条件を満たしてやり取りしていない。	三つの条件を満たしてやり取りしていない。

(6) 指導計画（全8時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	評価規準（評価方法）
1	・新出単語や語句の確認を行い、物語を読むことを通して、野鳥のガンの習性を理解する。	知		・「刷り込み」や「渡り」など野鳥のガンの習性を理解している。（ワークシート）
2	・物語を読み、内容を正しく理解したり、展開を予想したりする。	知		・物語の概要を正しく理解したり、展開を予想したりしている。（ワークシート）
3	・登場人物の心情を理解し、それが表現されるように音読する。	思		・登場人物の気持ちを意識し、抑揚を付けながら、正しく英文を読もうとしている。（観察）
4	・リテラチャー・サークルを通して、2A2Bの内容理解を行う。	主	○	・物語の内容に沿って、自分の考えを英語で言おうとしている。（観察）
5	・リテラチャー・サークルを通して、2C2Dの内容理解を行う。	主	○	・物語の内容に沿って、自分の考えを英語で言おうとしている。（観察）
6 本時	・リテラチャー・サークルを通して、2Eの内容理解を行う。	主	○	・物語の内容に沿って、自分の考えを英語で言おうとしている。（観察）
7	・DVDを鑑賞することを通して、物語を理解する。	知		・今までの学習を振り返りながら、自分の解釈と映画の解釈とを比較しようとしている。（ワークシート）
8	・パフォーマンス課題に取り組み、内容を深く考え、自分の考えを英語で述べる。	知 思 主	○ ○ ○	・パフォーマンス評価（支援）ここまでの授業内容を振り返り、マッピングを用いて自分の考えを整理し、活動への手がかりとする。

「重点」は、重点的に生徒の学習状況を見取る観点を示しており、観点の略称は以下の通り。

知識・技能…「知」 思考・判断・表現…「思」 主体的に学習に取り組む態度…「主」

重点としていない観点についても、生徒の学習状況を評価し、教師の指導改善や生徒の学習改善に生かす。

3 本単元と研究テーマとの関わり

(1) 生徒について

生徒たちは今までパフォーマンス課題やリテラチャー・サークルなどを継続して行ってきた。日々の言語活動を通して、アイコンタクトや笑顔，リアクションなどのコミュニケーションスキルも身に付きつつある。また，全校で取り組んでいる「問答ゲーム」を英語で行ったり，英語でスピーチを行うときに自分の考えを英語で述べやすくするために「話型」を用いたりしてきた。その結果，まとまりのある英文を読んだ上でその内容について級友と質疑応答したり，自分の考えや感想を話したりすることができるようになってきている。

本学級の生徒は，相手の考えを真剣に聞き，それを踏まえて自分の考えを述べることができる。また，自分の話す英語が伝わることを楽しく感じ，英語の学習に主体的に取り組むことができる生徒が多い。だが，文法的に正しく英語を話すことが苦手であったり，語彙力が不足して言いたいことを英語で言えなかったりすることがある。そこで，ジグソー学習や学びの振り返りの場面を設定することで，自分の学びの状況や間違いに気付き，自ら改善していこうとするようにさせたい。仲間とともに協働で英語を学習していくことで，積極的に英語を使うことのできる生徒を育成したい。

(2) 単元について

生徒は Fly Away Home の大まかな概要を理解している。この物語は，親鳥に置き去りにされた 16 羽のカナダガンを連れて 500 マイルの渡りに出た父と娘との絆と冒険の物語で，実話に基づいた話である。この物語を通して，以下の三つの力を育成する。

ア 物語文を読み概要を捉える力の育成

パートや段落ごとに 6 W 1 H の情報をつかませたり，時に関する表現，接続詞などに注目させることで，話のあらすじをつかませたり，今後の展開を予想させたりする。

イ 思考力・判断力・表現力の向上

リテラチャー・サークルを行うことで，物語の内容の何を話すかを考えたり，相手に分かりやすく伝えるためにどのようにまとめたらいいかを考えたりさせることができる。また，話合いややり取りを通して，相手の考えを聞く姿勢を身に付けたり，話の内容やお互いの考えを深めたりさせることができる。それらが相互理解にもつながり，お互いの考えや物語の感動を共有することにつながる。

ウ 生徒の主体的に学ぶ力の伸長

四人一組となるグループでのリテラチャー・サークルを行うことで，生徒たちはさまざまなものの見方や考え方を知ることができ，感じたことや考えたことを伝え合うことができる。物語の主人公の熱意や行動力から得られる感動やメッセージを通して，自分のあるべき姿を考え，それを級友たちと共有しようとすることに結び付けやすい教材である。

(3) 「深い学び」の実現に向けた指導の工夫について

ア お互いの意見や考えを交換したり，質疑応答をしたりする時間の設定

生徒が物語を読んだとき，内容に分からないことがあれば，その内容を言葉にし，物語の中から根拠を見付ける。自分の感じたことに対して，同じ物語を読んだ人がどのように感じたかを確認することで，意見が生まれる。このように，物語を読み，他者と意見を交わすことで，一つの物語でも多様な見方や考え方があることや，一人で読んでいるだけでは分からなかったことに気付くことができるようにさせたい。

イ 「つながり」を意識したディスカッション

物語を読み，その内容と自分の経験とのつながりについて話をさせる。また，自分の考えを話したり，意見を交換したりすることで，グループのメンバーと関わらせる。そのような「つながり」を意識させることで，英語を主体的に学ばせていきたい。

ウ ミニレッシンを行うことや振り返りシートの活用

ミニレッシンを行い，前回のリテラチャー・サークルの振り返りを行う。そして，リテラチャー・サークルを行うごとに振り返りシートを記入させる。タイトル，役割，班の目標，達成できたこと，改善点，感想などを書かせて，学びを継続させる。生徒に「達成感」や「課題」を感じさせたり，よりよく英語を使っていこうとする意識を持たせたりすることで，継続して英語学習に取り組む自律的な学習者の育成を目指したい。

4 本時の指導（6／8時間）

(1) 主題 物語を読んで、感じたことや学んだことを語り合おう。

(2) ねらい

○物語を読み、内容について分かったことを英語で表現し、感じたことや考えたことをグループで質問し合ったり応答し合ったりすることができる。

(3) 展開

学習活動（形態）	時間	○教師の働きかけ・予想される生徒の反応	○指導の工夫◎評価規準（評価方法）
1 英語で問答ゲーム（ペア）	4	○Which do you want to visit, the past or the future”？のテーマで話そう。 ・I want to visit the past. I want to go back to the first year of junior high school. I lost my final soccer game. I want to practice harder and become a better player.	○相手に分かりやすく伝えるために、結論を先に言ってから理由を述べたり、6 W 1 Hを意識して質問したりして内容を深めさせる。
CAN-DO We can exchange our opinions in English.			
2 復習（一斉）	2	○本文内容を一度読み、内容を大まかに理解する。	
3 ミニレッスン（全体）	5	○前単元でのリテラチャー・サークルを振り返り、良かった点・改善したい点を確認する。	○今回の取組への意欲を高めるために、前単元での話合いの文字起こしをしたプリントを用いて、課題や良かった点を述べたり、話し合う際に有用な表現を確認したりさせる。
4 話合いのための準備（グループ）	8	○同じ役割で集まり、自分の役割の内容を確認する。	○自信を持って話合いをするために、ジグソー学習を取り入れ、級友と話し合いながら準備させる。
5 話合い（グループ）	15	○サマライザーが要約を説明する。 ○イラストレーターがイラストを説明する。 ○クエスチョナーが質疑応答をする。 ○コネクターが自分の経験を話す。 ○まとめの話合いを行い、単元を通して感じたことを話し合う。	○結論を先に言ったり、6 W 1 Hを意識して自分の考えを述べたりすることで、相手に分かりやすく伝えさせる。 ◎積極的に感想を述べたり質疑応答をしたりしている。 （発話棒・360度カメラ）
6 発表（全体）	8	○全体で感想を共有する。 ・We think to challenge ourselves is important. Amy and her father worked hard to protect nature. They never gave up. I also want to do my best without giving up. My dreams will come true.	◎話合いの中で6 W 1 Hを用いて質問したり、結論を先に言ってから理由を述べたりすることができる。 （ワークシート・360度カメラ）
7 振り返り（グループ） →（個人）	8	○話合いを通して学んだことや達成できたこと、課題や改善点について話し合う。	○多様な考えを持たせるために、他のグループの生徒の発表を聞かせる。 ○次回の活動への意欲を持たせるために、振り返りを行う。
授業研究の視点	○リテラチャー・サークルを行うことは、生徒の表現力を高めたり、やり取りを活発にさせたりする上で効果的だったか。 ○リテラチャー・サークルを行うことで、内容理解が深まるものとなったか。		